

VMware Workspace ONE: Advanced Integration (VMware Workspace ONE: 高度な連携)

コースについて

この 5 日間のコースでは、「VMware Workspace ONE: Deploy & Manage [21.x](VMware Workspace ONE: 導入と管理 [21.x])」で学習した基礎を基に、VMware Workspace ONE® UEM と VMware Workspace ONE® Access™ を使用してシステムの導入と管理の改善を加速させます。

一連のハンズオン ラボ、シミュレーション、対話型の講義を通じて、組織の現在の業務を効果的に評価し、ID、認証、アクセスの管理の改善を目指す機会を見出します。さらに、Hub サービス、統合カタログ、Intelligence、および API を含む、一連の包括的な VMware Workspace ONE® サービスを活用して、統合された管理戦略を構築するために必要な計画と手法を学習します。

コースの目標

このコースを修了すると、次のことができるようになります。

- Workspace ONE Access のもっとも一般的なユースケースとワークフローを考慮して、自社の特定のユースケースに対応する Workspace ONE Access の主なメリットを理解する
- Workspace ONE Access でサポートされているさまざまな ID ソースを理解し、組織のユースケースに最適なソリューションを適用する
- Workspace ONE Access の一般的な認証方法を差別化し、ビジネス ニーズに最適な認証方法を選択する
- アクセス ポリシーの使用方法を理解し、組織でベスト プラクティスを実装する
- 自社のセキュリティ要件を満たし、堅牢なエンドユーザー体験を保証するために実装できるさまざまな認証方法とワークフローの概要を理解する
- VMware Workspace ONE® の Intelligent Hub および Hub サービスの機能とメリットを理解し、双方の効果的な実装方法を学ぶ
- VMware Workspace ONE® Intelligence™ の機能と、これを使用して日々の管理とメンテナンスをサポートする方法を理解する
- Workspace ONE UEM と Workspace ONE Access API を使用して管理とメンテナンスを実行する方法を説明する

対象者

- Workspace ONE UEM の運用担当者および管理者、アカウント マネージャ、ソリューション アーキテクト、ソリューション エンジニア、セールス エンジニア、コンサルタント
- Workspace ONE Access の運用担当者および管理者、アカウント マネージャ、ソリューション アーキテクト、ソリューション エンジニア、セールス エンジニア、コンサルタント

前提条件

このコースを受講するには、次のコースを修了している必要があります。

- [VMware Workspace ONE: Deploy and Manage\(VMware Workspace ONE:導入と管理\)](#)

受講方法

- 教室開催
- ライブ オンライン
- [一社様向けオンサイトトレーニング](#)

使用製品

- VMware Workspace ONE UEM
- VMware Workspace ONE Intelligence
- VMware Workspace ONE Access
- VMware Carbon Black
- VMware Horizon®
- VMware Horizon® Cloud Service™
- VMware Horizon® Cloud Service™ on Microsoft Azure

コースのモジュール

1 コースについて

- 概要およびコースの流れ
- コースの目標

2 Workspace ONE のプラットフォームの概要

- ユースケースに基づいた、Workspace ONE のプラットフォームに含まれるさまざまな製品の主な機能の確認
- Workspace ONE Access のもっとも一般的なユースケースとワークフローを考慮して、自社の特定のユースケースに対応する Workspace ONE Access の主なメリットの確認
- 組織特有のニーズと要件に固有のアプローチを確認するための、Workspace ONE Access の主なサービスの基盤となるコンポーネントの説明
- Workspace ONE Access コネクタの機能とワークフローの確認

3 ID ソース

- Workspace ONE Access でサポートされているさまざまな ID ソースの理解と、組織のユースケースに最適なソリューションの適用
- ID ソースに基づくさまざまなディレクトリタイプの確認
- Microsoft 365 を Workspace ONE Access と統合して SSO 機能を利用する手順の概要の理解
- Active Directory と LDAP ディレクトリの同期サービスのさまざまなワークフローの列挙
- Workspace ONE Access を使用したサードパーティ ID プロバイダーの連携の機能とユースケースの確認
- VMware AirWatch® Provisioning App の機能とユースケースの確認

4 認証

- Workspace ONE でサポートされているさまざまなタイプの認証方法の確認
- Okta 連携オプションの紹介
- コネクタベースの認証方法のワークフローの説明
- 一般的なクラウドベースの認証方法の概要の説明

5 アクセス ポリシー

- 条件に基づいたアクセス ポリシーを使用したセキュリティレイヤーの追加の説明
- ID プロバイダーと認証方法がアクセス ポリシーと連携して動作する方法の説明
- ベスト プラクティスに応じたアクセス ポリシー ルールの作成方法の説明

6 カタログ

- ユースケースに応じた、統合カタログでサポートされているリソースの概要の説明
- サポートされている認証、委任されている認証、連携されている認証のワークフローの説明
- ユースケースに応じた Web アプリケーションのアクセスと SSO 機能の設定
- 一般的な仮想デスクトップ インフラストラクチャ統合のユースケースの説明

7 Hub サービス

- Hub サービス、Workspace Intelligent Hub、Workspace ONE UEM、Workspace ONE Access の関係についての説明
- Hub サービスのさまざまなコンポーネントと構成手順の説明
- VMware Workspace ONE® Verify の実装方法の説明
- ユースケースに応じた Mobile Flows の実装方法の説明

8 Intelligence

- Horizon の機能とメリットの確認
- サードパーティ ソリューションとの連携によるデータの接続と共有の方法の説明
- ダッシュボードを作成し、収集されたデータとメトリックにアクセスしてレビューする方法の説明
- Workspace ONE Intelligence の自動化を作成してさまざまな管理タスクを実行
- Workspace ONE Intelligence のレポートを作成して環境全体の詳細な分析を取得

9 Workspace ONE のアプリケーション プログラミング インターフェイス

- Workspace ONE UEM と Workspace ONE Access API を使用したユースケースの概要の説明
- API を通じた Workspace ONE UEM Console の一般的な管理およびメンテナンスの実行
- API を通じた Workspace ONE Access コンソールの一般的な管理およびメンテナンスの実行

お問い合わせ

このコースに関するご質問や登録方法については、japan-education@vmware.com までお問い合わせください。



VMware 株式会社 〒108-0023 東京都港区芝浦 3-1-1 田町ステーションタワーN 18 階 www.vmware.com/jp

© 2021 VMware, Inc. All rights reserved. 本製品またはワークショップ資料は、米国および国際的著作権法および知的財産法によって保護されています。VMware 製品は、<https://www.vmware.com/download/patents.html> のリストに表示されている 1 件または複数の特許対象です。VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。他のすべての名称ならびに製品についての商標は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

VMware は、一般的に認められている業界基準と慣例を使用して妥当な方法で、ここで記載されているワークショップ サービスを提供することを保証します。上記明示保証は、VMware が提供するサービスおよび成果物、ならびにそれらのサービスおよび成果物から得られる結果に関する、明示、黙示、法定、その他のあらゆる保証(商品性に対する黙示保証および特定目的に対する適合性の黙示保証を含みます)に代わるものです。VMware は、お客様に対して特定または参照した、いかなる第三者のサービスまたは製品に対しても責任を負いません。本ワークショップにおいて提供される資料(以下「ワークショップ資料」といいます)の著作権は VMware に帰属します。VMware は、お客様が許諾を受けた VMware 製品についての社内での理解、利用、運用を促進する目的に厳格に限定して本ワークショップのお客様にワークショップ資料の使用および合理的な範囲でコピーを作成することを許諾します。前述の明示された場合を除き、本ワークショップの条件の下で許諾された知的財産権およびその他のいかなる許諾された権利も他者に譲渡することを禁止します。米国内のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware, Inc. になります。米国外のお客様の場合、サービスに関する VMware の契約当事者は、VMware International Limited になります。